

東浦町立片葩小学校と東浦町立東浦中学校にリフレッシュスペースが整備されました

空き教室を仕切るための衝立と横になれる大きさのソファを設置（片葩小学校）



新規にカーテンレールを設置したことで、空き教室を複数の目的で利用できるようになりました（片葩小学校）



気軽に利用できるように、完全に遮断した部屋ではなく、リフレッシュスペースとして運用しています（東浦中学校）



職員室の入り口からは太い柱が目隠しになっており、来訪者からの視線は気になりません（東浦中学校）



当共済組合の「教職員の働き方改革のためのマザーズルーム等の設置に対する支援事業」を活用し、令和6年3月22日に東浦町立片葩小学校と東浦町立東浦中学校に、それぞれリフレッシュスペースが整備されました。

片葩小学校では、これまで教職員の体調不良時には保健室で休むしかなく、児童も利用することから安心して休めるような環境ではなかったそうです。今回、教職員が休むための場所が整備されたことで、実際に体調が悪くなった先生に対して「リフレッシュスペースで少し休んでおいで。」と声掛けをすることができたというお話が印象的でした。

東浦中学校では、職員室の柱の陰になっている場所に、カーテンパーテーションで囲った区画をリフレッシュスペースとして整備しました。コーヒーマシンとBluetoothのスピーカーを設置し、忙しい業務の中でも気軽に一息つけるような場所になっているということです。空き教室を確保することが困難でも、区画を整備することで休憩の質が向上したというお話を伺うことができました。

基本情報 片葩小学校
東浦中学校

児童数 378人
生徒数 794人

教職員数 29人
教職員数 55人

（令和5年度学校基本調査）